

検見川の浜ビーチフェスタ 2025秋

どんぐりであそぼう

梅宮 玲子（市原市）

日 時：2025年10月5日（日）10:00～14:00 天候：晴れ

参加者：150名位（就学前子ども～大人）ドングリゴマ100個以上

担当指導員：伊藤・花島・平田・本多・梅宮（会員外：鵜沢さん）指導員1名

検見川の浜で、秋のイベント「検見川の浜ビーチフェスタ」が開催されました。

今回のドングリ遊び1番人気はドングリマラカス。透明な2個のクリアカップの口の部分に厚紙を丸く切った穴からドングリが全部通過すればOK。大きさの異なる8個のドングリを入れ、ドングリが通るか確かめてから、厚紙やプラカップに思い思い、丸、ハート、猫、星、いろんな色のラインシールを貼って、カシャカシャ鳴らして遊びました。

ドングリコマは、まずコマ選び。よく回るか確かめてから、気に入ったドングリに顔を描いたり、シールを貼ったりして回しました。

竹ぼっくりは、竹を切るのが、なかなか難しいので、作業に熟練した指導員に手伝ってもらい、完成。それから竹ぼっくりの乗り方を教えてもらって、歩いてみました。

ドングリの折り紙は1枚の折り紙を4等分に切り、2枚の折り紙を帽子と実を色違いにして折り、顔を描いたりして遊びました。箱に穴を開けて上のドングリを下の箱部分に落とすドングリコロコロゲームは夫婦や親子でどちらが早く落ちるか競争しました。

5個の竹の輪のリングはどうやって作るのか、つなぎ目はどこか、不思議そうに見たり、触ったりする人もいました。

ドングリそめん流しは小さな子供たちに大人気。何度も流しても飽きないらしくコロコロ、コロコロ、終了時間間際まで、何度も飽きずに転がしていました。ダイオウショウの大きな実を竹に乗せてトンネルだと、ゴッコ遊びをしたりしていました。

作成したドングリの作品は参加者のビーチフェスタの記念に、おみやげになりました。

今回はまだ残暑が厳しく、稲毛海浜公園の美浜区民フェスティバルと同日開催のわりには、開始から2時過ぎまで、ずっと人出が途切れませんでした。その結果、暇なときに周りのイベントを交替でみる余裕がほとんどありませんでした。



竹ぼっくりの材料作成中



このドングリは回るかな？



ドングリマラカスにシール貼り